

北社会ニュース #66号

2010年7月15日

発行者： 鈴木壮夫

(1) 第283回北社会 (7月21日開催)

講師：鈴木勝王氏 (高16回) 石油資源開発(株)副社長

テーマ：(A) オイルピークについて

(B) イラクの石油開発と今後の展開について

(C) 著書：「ノアの方舟はなぜ沈まなかったのか」の紹介

本日の西條氏の連絡によりますと、明後日17日の午後10時～10時45分、NHK・TV番組“追跡、A-Z密着イラク巨大油田獲得交渉”の中で本日の講師鈴木勝王氏の取材が多く登場するとのこと。本来ならばこの番組を拝見して北社会ニュースを作成したいのですが事情があり残念ながら事前にかねばなりません。残念です。正月の新年総会にて佐藤健一氏 (高17回) が鈴木勝王氏の著作を紹介いただいた。地元 (川崎市) の紀ノ国屋書店ですぐ買いました。ビックリしました。平朝彦氏 (高17回) ～海洋研究開発機構・理事～は推薦文の中で「本書は緻密な文献調査と現地体験から構築されており、自然、文明、歴史に興味を持つ読者に広く推薦するものである。」と紹介しております。

鈴木勝王氏は79年～84年、ジャカルタ駐在、88年～93年、ヒューストン駐在と海外経験も長いと思います。そんな業務の中で、平氏のご指摘されているようによくぞ勉強(?)をされ、著書が出版されている根性(?)にビックリしてスゴイと思うと同時に“仙台二高”が誇りになりますね。

会員の皆さん、石油の誕生についてどの程度ご存じでしょうか。恥ずかしいですが私の知識は“はるか昔、地殻変動があって獣が大量に土中に埋もれた。獣の体から石油が産まれた”とつい最近迄理解しておりました。鈴木勝王氏の著作を拝見、間違いに気付かされ『理科』に弱い私は市立図書館の子供コーナーを訪問、子供科学を読みました。

次のように書かれておりました。

- (イ) 生物の遺骸が水の底に堆積する。
- (ロ) 有機物質「ケロジエン」に変身
- (ハ) 熱で分解され油とガスが生成する
- (二) 貯留岩の隙間を上へとのぼる

地下3000～5000メートルでの生物起源説が有力なのだそうです。いろんな生物やプランクトンや藻が海底や湖底に沈んで堆積する。やっと理解できました。

鈴木勝王氏には笑われますが正直、私はこんな程度でした。そして、「鈴木」という同姓から「勝王」という素晴らしいお名前にとっても興味があります。昭和20年4月26日のお生れと検索の結果、知りましたが終戦の日まで、4ヶ月弱、仙台も空襲があった頃に「勝王」は素晴らしいですね。名付けたご両親は見上げた方々だと思います。テーマとずれるかもしれませんがお話しいただけませんか。前期高齢者になったばかりでしょうが根性と気力と地道な努力に尊敬します。ご講演楽しみにしております。

青山史朗先輩の北社会への尽きない思いに

感謝して、伝統の継承に努力しましょう。

北社会ゴルフ閉会

中 40 回 青山史朗

在京同窓による北社会ゴルフは昭和五十三年から始まり三十二年間も続けられてきたが、今回六月例会をもって閉会することになった。当初二十年近くは安藤太郎大先輩が創設した泉カントリーで開催してきたが、最近十年余は桶川の大宮ゴルフコースで毎月腕を競ってきた。私もすでに米寿を過ぎ、一月には念願のエイジシュート88を達成したので、最近の自らの体調を思い、長いわがゴルフ人生の打ち納めの時が来たかと心に秘めて最終戦に参加した。梅雨時ながら曇天涼風の絶好の日和に恵まれ「ホクトカイアメフラナイ」のジnkスを守り抜くことができた。納会パーティで進藤正勝氏（13回）が大京在職中ゴルフ場開設に奔走した話。猪股俊秀氏（12回）膝痛の特効薬ヒアルロンサン開発にまつわる苦心談。そして伊藤忠商事を定年退職した原芳通氏（11回）が、金華山沖で採取する藻からバイオエタノールを採取する新事業に着手したことなど興味津々たるスピーチの連続で楽しい会の幕を閉じた。